



エコチルキッズの
ちょっとふしぎな
ものがたり

みらいのとびら





なに
ぼくは何でできているんだろう？

とも き
友だちに、聞いてみた
なに おも
「ぼくたちは、何でできていると思う？」



て あし ほね
「手や足があるから、骨かな？」

た
「ちがうよ。食べものでできているんだ。
す おお
好ききらいすると、大きくなれないよって
い
いつも言われるもん」

た
「でもわたし、食べちゃダメなものがあるよ」



「どうして食べちゃダメなものがあるんだろう？」
からだ
「体がかゆくなったりするからかなあ」

「ぼくは、ねこがいと、くしゃみが止まらなくなるよ！」

「あれ、ぼくはね、山や畑にいくと目がかゆくなるんだ」

「あれあれ、わたしはね、病気になったとき飲んじゃいけないお薬があるんだって」

「あれあれあれ、ぼくはそんなこと、
ぜんぜんないよ。何を食べても、
どこにいても、動物がいても平気だよ」

どうしてだろう？

そのとき、
おお
大きなとびらがとつぜんあらわれた。

『みらいのとびら』

ぼくは、ちょっとときどきしながら
そのとびらをあけたよ。

とびらのむこうには、
ふしぎな世界が広がっていた。

「ここはどこですか？」
ぼくはそこにいた男の人に聞いてみた。

「ここはね、未来の国だよ。」

そしてぼくは、
きみが大人になった未来のきみなんだ」

ぼくは、びっくりした。
「お兄さんは、大人になったぼくなの？」

「そうだよ。ぼくが子どものころ、とつぜん
『みらいのとびら』があらわれたんだ」

「どうして『みらいのとびら』があらわれたの？」

「それはね…」



「『^{なに}ぼくは、何でできているんだろう』。^{こた}その^{おし}答えを教えたくて、
^{みらい}未来のぼくがこのとびらをつくったんだ」

「じゃあ、^{なに}ぼくは何でできているのか^{おし}教えてくれる？」

「きみたちはね、いろんなものでできている。
^うきみたちがまだ^{まえ}生まれる^{かあ}前、お母さんのおなか^{なか}の中にいるころから
^{からだ}きみたちの^{すこ}体は、^{つく}少しずつ作られてきたんだ」

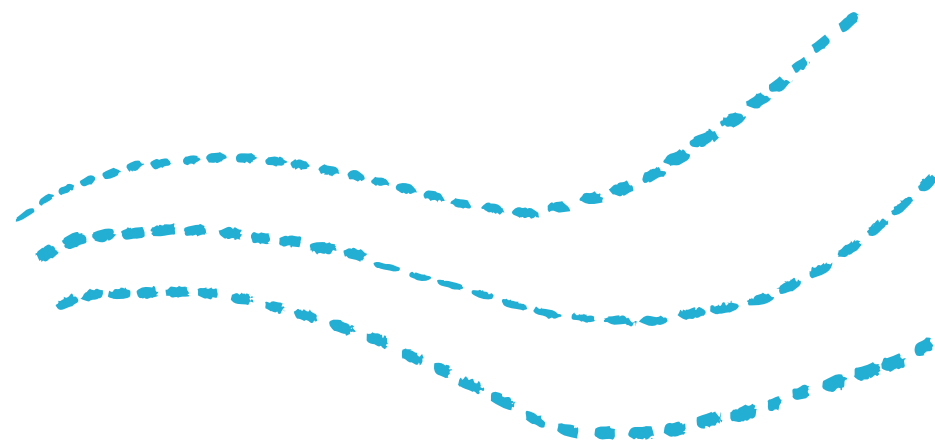
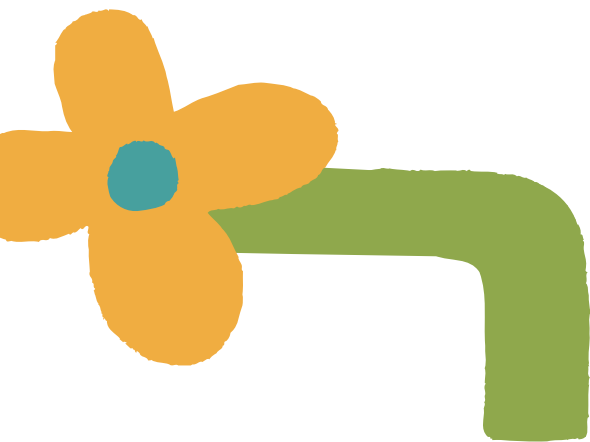
「どういうこと？」

「きみたちが^{せいちょう}成長するには、いろいろな^{ちから}ものの^{ひつよう}力が必要なんだ」

^た「^{もの}食べ物^{こと}のこと？」

「そうだね。^たでも^{もの}食べ物^{だけ}だけではないよ」

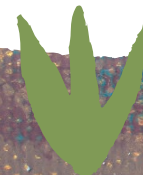




「お^{みづ}水だ^{たいせつ}って大^め切^みだよ。それ^{くうき}に目^みには見^みえ^{くうき}ない^{くうき}けど空^{くうき}気^{くうき}も！」

「ぼく^{ねつ}は^でね、熱^のが出^のた^のとき^のに飲^{くすり}む^すあ^{くすり}ま^す〜いお^す薬^すは好^すき^すだよ。
でも^{ちゅうしゃ}注^{だい}射^{だい}は^{だい}大^{だい}き^{だい}ら^{だい}い」

「そ^すう^すだ^すよ^すね。み^すん^すな^す好^すき^すな^すも^すの^すと^すき^すら^すい^すな^すも^すの^すが^すあ^する^すよ^すね。
き^{からだ}み^{からだ}の^{からだ}体^{からだ}も^{からだ}同^{からだ}じ^{からだ}よ^{からだ}う^{からだ}に^{からだ}、好^{からだ}き^{からだ}な^{からだ}も^{からだ}の^{からだ}と^{からだ}き^{からだ}ら^{からだ}い^{からだ}な^{からだ}も^{からだ}の^{からだ}が^{からだ}あ^{からだ}る^{からだ}ん^{からだ}だ^{からだ}」



からだ す
「ぼくの体が好ききらいするの？」

からだ よ
「きみたちの体にとっては良くないものもあるんだ。
で からだ
せきが出たり、体がかゆくなったりするのは
からだ おし
それを体が教えてくれているんだよ」

からだ おし
「体が教えてくれるの？
で からだ
どうしてせきが出たり、体がかゆくなったりするんだろう」



「世の中には便利な生活のために欠かせない、化学物質があるのは知っているかな？」

「聞いたことはあるけど、よく知らないよ」

「虫が部屋に入ってきたら虫よけを使うこともあるよね。」

ぼくたちが汚してしまった洋服やお部屋は、

いろんなしゅるいの洗ざいを使ってきれいにするよね。

痛いときや熱があるときは、薬にしてくれるお薬があるね。

食べものや飲みものが、くさらないようにするためには保存料があるよ。

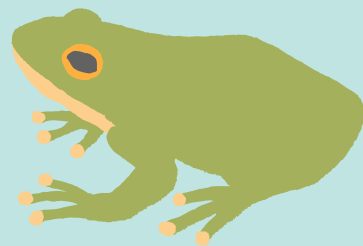
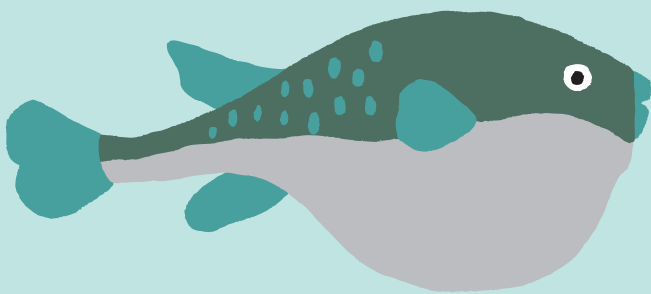
くだものや野菜を育てるときに、虫がつかないようにお薬を使うこともあるね。

これらはすべて化学物質でできているんだよ」

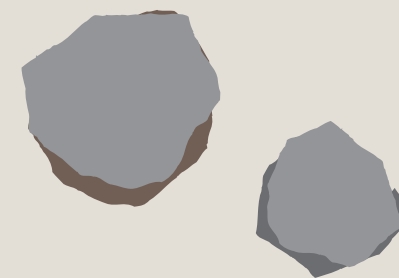
「へえ～そうなんだ。ぼく、そんなこと知らなかった」



しぜん なか
もともと自然の中にも
かがくぶっしつ
たくさんの化学物質が
あるんだよ。



と つか かた
「でも、たくさん取りすぎたり、使い方をまちがえてしまうと
ひと い もの わる あた
人や生き物に悪いえいきょうを与えてしまうこともあるんだ」



た
食 べ る も の 。 の
飲 む も の 。 す う 空 気 。

「この中には、もしかしたら体によくないものがまじっているかもしれない。

でも、なにがどれくらいよくないのかわからないんだ。

だから身の周りにあるものが

みんなの健康にえいきょうしているかどうかを

ぼくたちが参加している『エコチル調査』で調べているんだよ」





おとな
そのとき大人のぼくに
ちい こ
小さな子どもがかけよってきた。

こ
「その子はだあれ？」

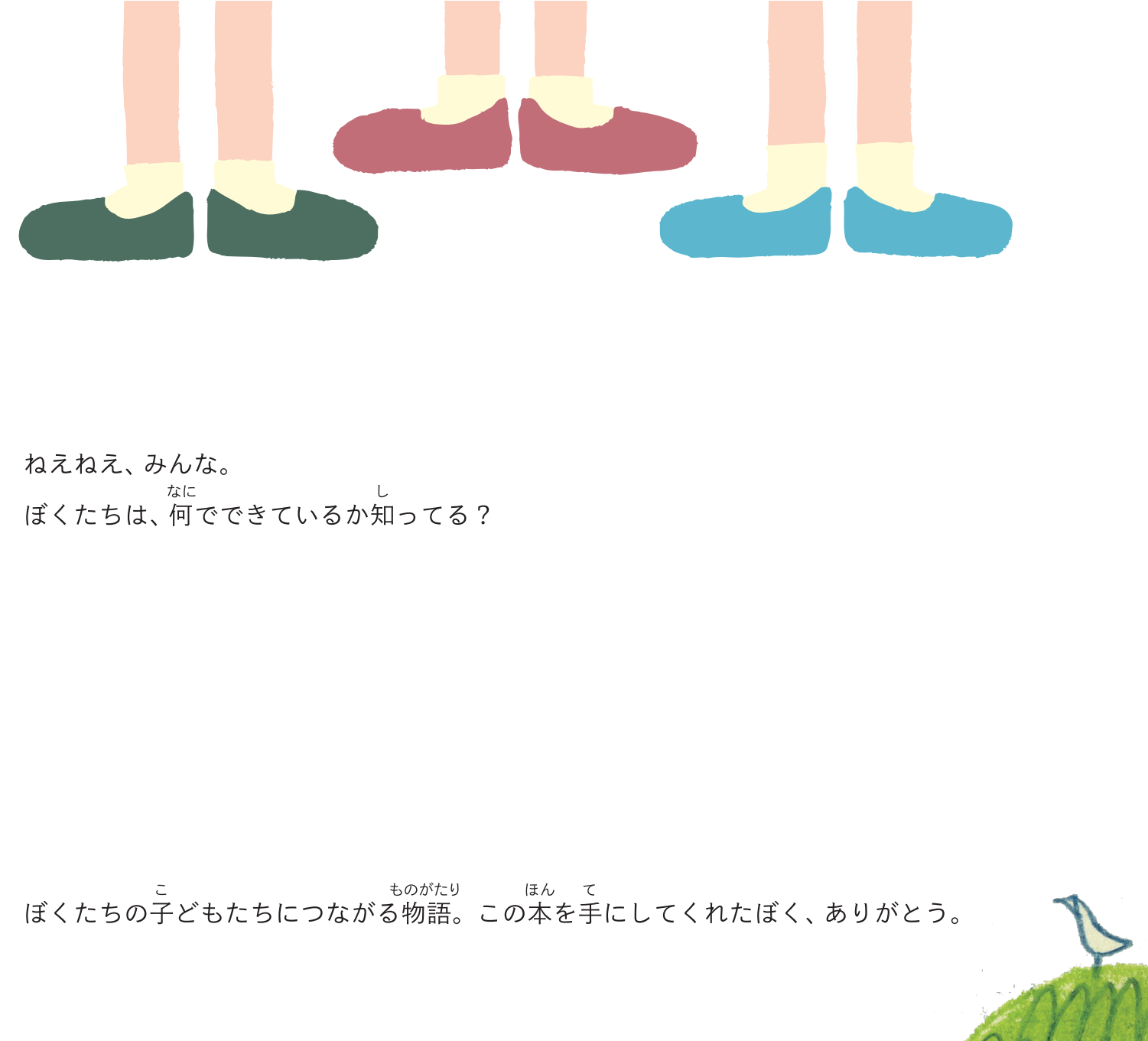
とう
「ぼくはお父さんになったんだ」

みらい こ
「ぼくの未来の子ども？」

たからもの こ
「そう。かけがえのない宝物だよ。ぼくたちが子どものころからこうやって
からだ しら こ
体のことを調べてきたから、子どものころにわからなかったことが
きょうりよく
たくさんわかるようになったんだ。みんなの協力のおかげなんだよ」



ぼくは、だいじな^{こた}答え^しを知って
はやくほかのお友だちにも教えたくて^{とも}
『みらいのとびら』をとび出^だした。



ねえねえ、みんな。
ぼくたちは、何で^{なに}できているか知^しってる？

ぼくたちのこ^こどもたちにつな^{ものがたり}がる物語。この本^{ほん}を手^てにしてくれたぼく、ありがとう。



おうちの方へ お子さんへのメッセージを書き込んで世界に一冊だけの絵本にしてください。



みらいのとびら

発行日：2019年3月

発行：熊本大学サブユニットセンター

編集：絵本「みらいのとびら」編集部
前永千佳 小田政子

イラスト：コーダ・ヨーコ

デザイン：中川哲子デザイン室

エコチル調査 南九州・沖縄ユニットセンター

〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1

TEL. 096-373-5440 FAX. 096-373-5441

E-mail: u-center@ecochild-minamikyushu.jp

URL: <http://www.ecochild-minamikyushu.jp>
(<http://www.ecochild-kumamotosub.jp>)

参考資料：「こども環境白書2016」(平成27年11月発行)
環境省 総合環境政策局環境計画課企画調査室
「環境省エコチル調査ホームページ」
<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/>



子どもたちは、
あしたの地球を
生きてゆく。

子どもの健康と環境に関する全国調査 エコチル調査

南九州・沖縄ユニットセンター 熊本大学サブユニットセンター